

国際交流事業を終えて

村田町 櫻中 優太

僕は2年前に兄がこの事業に参加したのと、家族の勧めがきっかけでこの事業に参加しました。

僕は内気な性格なので日本とイギリスの留学生や向こうのホストファミリーと親しくできるか、自分の英語が通じるのかなど不安がたくさんありました。そしてペアのアンディーとアレックスと初めて対面。彼らは僕よりもずっと身長が高く、最初に会った時は少し怖かったです。しかし彼らは笑顔で迎えてくれました。

イギリスでは場所によって違った良さがありました。ロンドンではビッグベンやバッキンガム宮殿など聞いたことがある建物や、映画に出てきそうな街並み、リヴァプールでは有名なサッカーチーム。その他にもオックスフォードやチェスター、マンチェスターなど、どこも歴史を感じる素晴らしい場所でした。

朝早くに移動、夜遅くに帰宅という日がほとんどでしたが、そこでアンディーとアレックス、ホストファミリーと過ごした日々はとても充実していて、イギリスでの生活は一瞬に感じられました。僕はイギリスでの日々を絶対に忘れません。

日本に帰国してから彼らと過ごした10日間も様々な町の歴史や伝統を学び、日本は素晴らしい国だということを改めて再確認しました。

僕はこの夏、とても貴重な経験が出来たことを嬉しく思います。この事業に関わった人達と両親に感謝し、またこの経験を生かして自分のスキルを磨いていきたいと思っています。

国際交流事業を終えて

村田町 可沼 千鈴

22日間最高の思い出を作ることができました。

この事業に参加したのはいつかイギリスに行ってみたい！と素直に思ったのがきっかけでした。

最初は不安が大きかったのですが、イギリスに着いた途端に不安はどこかに飛んでいきました。日本と全く違う風景にわたしは感動しました。家の色、家の素材、大きな牧場、たくさんの動物たち、そして20時を超えてるのに暗くならない空。小さなことひとつひとつがわたしの胸を躍らせました。初めてホストファミリーにお会いした時、すごく喜んでもらえて嬉しかったのを覚えています。慣れないハグにドキドキしましたが、イギリスでの生活はどれも初めての経験ばかりで本当に楽しかったです。色々な所に行きましたが一番印象に残ってるのは、スーパーマーケットです。商品棚の高さや商品の大きさが衝撃的でした。英語だけの生活は、なかなか自分の意思を伝えられないもどかしさがありましたが、温かい人たちに囲まれてイギリスを出国する時には自然と涙が溢れてきました。「いつでも帰っておいでね」そうお母さんから声をかけてもらえました。ウェールズにわたしのもう1つの家族ができました。

日本に帰国してからは、英国生の人たちがとても楽しそうにしていたのが印象に残っています。一番喜んでいたのはおにぎり作りです。おにぎりが大好きで、納豆や梅干しと格闘しながら色々な具材を入れて、とても楽しんで作っていました。家族もジェスチャーなので必死に伝えようとしてくれて、本当に温かい気持ちになりました。

そんな楽しい時間は今までに感じたことのないスピードであつという間に過ぎました。ウェールズはもちろん、改めて日本の良さも感じられた期間でもありました。貴重な経験させてくれた家族にはとても感謝しています。本当に幸せな時間を過ごすことができました。いつかまた、4人でウェールズに行きたいと思います。

国際交流事業を終えて

蔵王町 鈴木 百合華

私は今回のホームステイを通して、海外の文化や言語に、より一層興味を持つようになりました。

はじめは、海外で生活するにあたって、ホストファミリーと事前にうまく連絡が取れなかったこともあって、期待より不安の方が大きかったと思います。しかし、自分のホストファミリーだけでなく、今回の事業に参加した家族全員が温かく私たちを受け入れてくれたおかげで、そんな不安はすぐに吹き飛びました。

私たちがフrintシャーについた翌日から、早速様々な場所に連れていっていただきました。ウェールズの古いお城やオックスフォード大学、二泊三日のロンドン旅行…どれもこれも楽しく、思い出深いものとなりました。

しかし、向こうでの生活はやはり日本と異なることが多く、少し困惑することもありました。私の中では、家の中で靴を脱がない、という点は最後まで慣れることができませんでした。ただ常に靴を履いているわけではなく、履いたり履かなかったり…。そんな戸惑いはありましたが、自分の中の当たり前が、国が変わると全く通用しなくなるのはとても不思議で興味深く感じました。

そして言語。それなりの知識を持って向かったつもりでしたが、実際に現地でネイティブと話すにはまだまだでした。はじめの二日、三日は何度も心が折れそうになりました。しかし、やはり一番大事なものは伝えようとする姿勢。こちらが知っている単語やジェスチャーでなんとか気持ちを伝えようすれば、向こうも理解しようという姿勢をとってくれ、意思疎通をとることができました。

ウェールズで過ごした11日間は私にとって、とても短く、濃い時間でした。そして、素晴らしい経験と、素晴らしい仲間を得ることができました。今後はこれまで以上に英語を熱心に勉強し、いつか、今回出会った英国生やその家族、海外のあらゆる人々とより深くコミュニケーションをとれるようになりたいです。

国際交流事業を終えて

蔵王町 滝口 聖心

私は、今回が初めての海外渡航でした。12時間程の長フライトや、ホームステイ先にスーツケースが届かない、言葉が通じないなど初日から不安しかありませんでした。しかし生活していくうちに、私と話そうと頑張ってくれる英国生や、たくさんの所に連れて行って楽しませてくれるホストファミリーの優しさでいつの間にか不安は消え、とても充実した研修になりました。

日本との違いに驚いたことも沢山ありました。日本は、夏だと大体夜の7時くらいに空が暗くなりますが、向こうは10時くらいまでずっと明るいので、夜遅くまでパーティをしたり、どこかに出かけていたりして、とても1日が長く過ごせました。また、雨が降っても傘を使わずにレインコートをきて雨をしのぐことが多かったです。また一番大きな違いは、気候です。私達が行った時は珍しく晴れの日が多かったと言われたのですが、それでも小雨がほぼ毎日数時間程は降っていた気がします。また晴れている時でも、適温か少し寒いと感じるくらいの気温で大体長袖で過ごしました。

向こうでは、どんなに遠いところに行くのにも家族全員参加で、自分のホームステイ先ではない家族の人たちとも仲良くなりました。特にロンドン研修では、スリラーショーで夜まで盛り上がったり、たくさんの名所に連れていってもらって、本当の家族のように接してくれて、たくさんの思い出ができました。また私のホストファミリーは、外出の際にはお昼のサンドイッチをいつも作ってくれて、それを外で食べる軽いピクニック感覚のお昼も楽しかったです。

全部で約3週間という短い期間でしたが、徐々に英語を聞き取れるようになり、今回の国際交流のメンバー全員とも家族のように仲良くなることができ、本当に終わってしまうのが嫌でした。近いうちにまたこのメンバーでウェールズに行き、良い関係を続けていきたいです。